

学校だより



いきいき鯨っ子

佐賀大学教育学部附属小学校 令和3年3月24日

やさしく
かしこく
たくましく

【教育目標】「生き抜く力」を備えたリーダー性のある児童の育成
— 子どもも教師も笑顔で深く学び、日々感動のある学校 —

今年度も学校教育へのご理解とご協力に 感謝申し上げます。

「新型コロナウイルス」の猛威にさらされた今年度は、「コロナ禍」や「自粛」という言葉を飽きるほど聞いてきました。その中で、いかに子供たちの安全を守りつつ、授業や学校行事を実施して、登下校を円滑にできるようにするのか、手探りのことも多く、対策の見通しや具体先について、早めに保護者の皆様にお知らせすることも難しく、ご心配やご迷惑をおかけしたと存じます。

出来るだけ、各ご家庭の思いや事情にも配慮したいと、4月には緊急にアンケートを実施しましたが、短い限られた時間の中でご回答をいただきました。また、授業や学校行事の実施につきましては、大変ご不便をおかけし、我慢をしていただくことも多々ありましたが、いつもご理解とご協力をいただきました。

また、日常の学校生活や各種行事におきましては、今年度も保護者の皆様にお世話になりました。子供たちの毎日の見守りや清掃活動、校内掲示物や外国語教材の作成、読み聞かせや学習支援など、保護者の皆様の支えあつての教育活動であることを、実感してきました。

新型コロナウイルスの脅威はまだ去りそうにありませんが、この1年間で、動画の配信など対応の工夫や代替方法などが見えてきたことでもありましたので、来年度に生かしていきたいと思えます。保護者の皆様ならびにご家族の皆様、本当にありがとうございました。

厳粛な卒業証書授与式 99名が巣立ちました



3月19日、99名の卒業生が附属小学校を巣立ちました。

学校行事の変更を余儀なくされた中でも、卒業生にとって最も残念だったのは、修学旅行の宿泊のない日程だったことでしょうか。しかし、残念な思いを胸に抱きながらも、出来るだけ楽しむ工夫をし、平和学習にも熱心に取り組みました。

また、運動会では、全校の子供たちをしっかりとまとめて、半日開催ながらも、全力を尽くした感動的なものにすることが出来ました。一人一人が、しっかりと自分の役割を果たしている姿には胸を打たれました。

加えて、今年度は何度か、子供たちの挨拶が良くなったことをお伝えしましたが、6年生がお手本となってくれました。何事にも素直な気持ちで協力しながら取り組むことのできる、立派な最上級生になってくれたと思います。その集大成となった卒業式でした。

そして、この卒業式の準備や片づけは、5年生が頑張りました。準備の時は、表情が明るく、きびきびと動いていました。指示されたことや頼まれたことに一生懸命に取り組み、自分から仕事を探す積極的な姿も見られました。附属小学校をけん引する力を持っている子供たちだと思います。

卒業式での、6年生の堂々とした立ち居振る舞い、式の途中微動だにせず集中して話を聞く姿勢を目の当たりにした5年生は、きっとしっかりと最上級生に育ってくれることでしょう。

修了式にあたって

本日は、この学年での学校生活最後の日となりました。先週から、各学級や学年で、最後の思い出となるような活動が多く見られました。最後のまとめをしつつ、名残を惜しみながらも、新しい学年に向けて、楽しく英気を養っているように感じました。

この1年間で、学年に応じて成長の姿を見せてくれた子供たちです。簡単にご紹介します。

- 1年生 バス登校や学校生活にも慣れて、笑顔で勉強を頑張りました。新しく出てきた漢字も使えるようになりました。給食もたくさん食べられるようになり、可愛らしさの中に逞しさが出てきました。朝の挨拶はとて明るく元気です。たいへん上手で、素直さが溢れています。
- 2年生 2年生になって活動の場が広がり、生活科での探検では、いろいろな発見をして楽しそうでした。興味・関心の高さが発見や気づきにつながりました。九九や漢字の練習も頑張りました。友達への優しい気持ちや、給食準備の時などの協力も素晴らしいものでした。
- 3年生 元気いっぱい、とても活動的。ALTのリック先生が、外国語活動の授業の後は「3年生はスーパー元気」と、笑顔で話されていました。新しく始まった社会科・理科・総合的な学習の調べ学習や実験・観察にも興味・関心が高く、積極的に学習しました。
- 4年生 4年生になった頃と比べると、元気ながらも落ち着いた態度が見られました。また、自分の好きなことや得意なことははっきりしてきたようで、上学年としての成長を感じました。4年生が詠んだ季節ごとの俳句は、場面の切り取りや言葉の使い方が上手で感心しました。
- 5年生 6年生と共に、運動会などの行事を牽引したり、宿泊学習を体験したり、また日々の学習に積極的に取り組んだりしたことで、上級生としての自覚がしだいに強くなったように感じました。他の人のために力を尽くすことや、困っている同級生や下級生に声をかけたり手を貸したりすることができる5年生だと思います。最上級生としての成長に期待しています。

一人一人の成長や努力は、今回も通知表「伸びゆく 鯨っ子」の所見をご覧ください。担任や教科担任が愛情をこめて綴りました。また、保護者の皆様から返していただいた言葉は、担任の大きな励みになったことと存じます。有難うございました。

教職員転出入のお知らせ

お世話になりました。そして、よろしく願いいたします。

下記のとおり、教職員が転出入いたします。大変お世話になり、有難うございました。転出者は、皆附属小学校と附属小学校の子供たちをこよなく愛しており、感謝の気持ちでいっぱいです。

転入者も、子供たちのために精一杯努めますので、どうぞよろしく願いいたします。

職名	転出		転入	
	氏名	転出先等	氏名	前任等
校長	宮原 正行	定年退職（初任者指導）	豆田 幸彦	附属小学校 教頭
教頭	豆田 幸彦	附属小学校 校長	岩崎 稔敦	唐津市立相知小学校
教諭	中野 和幸	佐賀市立日新小学校	島崎 智朗	佐賀市立大詫間小学校
教諭	水田 雄治	伊万里市立立花小学校	田中 大介	武雄市立山内西小学校
教諭	石井 豪	神崎市立仁比山小学校	松下 大介	吉野ヶ里町立三田川小学校
教諭	樋口 祥太	鹿島市立明倫小学校	寺田 隆宏	鹿島市立浜小学校
非常勤教諭	南谷 智美	大町町立大町ひじり学園	百武 文子	附属小学校 生活支援員
非常勤教諭	墨崎 芳	鹿島市立能古見小学校	内田 香織	佐賀市立開成小学校
非常勤教諭			田島 侑佳	ふたばこども園
生活支援員	百武 文子	附属小学校 非常勤教諭	白川 智子	嬉野市立大野原小学校
用務員	内田 幸男	退職	雪竹 東	

